

株式会社エルインターナショナル

ポジティブインパクトファイナンス評価書

2026年5月27日



大垣共立銀行とOKB総研は、株式会社エルインターナショナル（以下、「同社」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト/ネガティブインパクト）を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、大垣共立銀行とOKB総研が開発した評価体系に基づいている。

目次

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ.....	1
(1) 株式会社エルインターナショナルの企業概要.....	1
(2) 株式会社エルインターナショナルの事業概要.....	3
(3) 経営理念	7
(4) サステナビリティ.....	8
2. インパクトの特定	11
(1) バリューチェーン分析.....	11
(2) インパクトマッピング	11
(3) インパクトレーダーによるマッピング	12
(4) 特定したインパクト.....	14
(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認	17
3. インパクトの評価	19
4. モニタリング.....	22
(1) 株式会社エルインターナショナルにおけるインパクトの管理体制	22
(2) 大垣共立銀行によるモニタリング	22

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ

(1) 株式会社エルインターナショナルの企業概要

企業名	株式会社エルインターナショナル
創業	1997年4月
設立	2007年4月
代表者名	水島 健太
資本金	8,880万円
従業員	9名(2026年3月時点)
売上高	1,049百万円(2025年3月期)
事業拠点	本社・大高第一ストックヤード 愛知県名古屋市緑区大高町上塩田 36
事業内容	<p>自動車販売(新車、中古車、輸入車、国産車)</p> <p>車両委託販売</p> <p>自動車買取</p> <p>新車リース、中古車リース、レンタカー</p> <p>サポート・メンテナンス体制(代車完備、迅速な対応)</p> <p>各種総合サービス</p> <p>(修理、車検、钣金塗装、フィルム加工、ガラスコーティング、防犯セキュリティなど)</p> <p>コンサルティング業務(資産としての車の運用提案、契約内容の見直しなど)</p> <p>損害保険代理店業務</p>



<沿革>

1997年4月	現所在地において個人創業
2007年4月	法人成 資本金 50万円
2021年8月	SDGs 宣言
2023年4月	大高第二ストックヤード賃借
2023年6月	資本金 3,000万円に増資 健康宣言チャレンジ事業所として認定
2024年1月	八事ストックヤード購入
2024年6月	資本金 6,500万円に増資
2025年5月	鳴海ストックヤード購入
2025年6月	資本金 8,800万円に増資



(2) 株式会社エルインターナショナルの事業概要

自動車の販売、買取、リースからメンテナンス、さらにコンサルティングまで自動車業界全般にわたる幅広いサービスを提供している。富裕層を対象とした高級車を中心に取り扱い、販売先は国内が 80%、海外（国内の貿易会社経由）が 20%である。

【事業内容】

- 自動車販売
新車から中古車、輸入車から国産車まで、顧客の要望を聴取・把握し、それぞれの状況に合った自動車を提案している。
- 車両委託販売
顧客の大切な車を預かり、同社の販売ツールで委託販売をしている。
- 自動車買取
可能な限り顧客の要望に添えるよう、最善を尽くした買取価格を提示している。
- 新車リース・中古車リース・レンタカー
様々なライフスタイルに合わせ、購入だけではなく、カーリースの提案も行っている。新車リースから中古車リースまで、予算に合わせた提案が可能。
- サポート・メンテナンス
代車を 30 台完備している。また、箱型積載車とフルフラットの積載車を 4 台完備し、迅速かつ丁寧なサポート・メンテナンス対応ができる。



- 各種総合サービス
各種修理・車検・消耗部品交換等のメンテナンス整備、钣金塗装、フィルム加工、ガラスコーティング、防犯セキュリティーなど、様々なサービスに対応している。
- コンサルティング業務
資産としての自動車の運用提案や契約内容の見直しなど、自動車に関する様々なコンサルティング業務を行う。
- 損害保険代理店
任意保険の代理店として、保険加入手続等を行っている。



【同社の強み】

- 名古屋市内に 6 カ所の室内保管場所を完備。近年の天候被害への対策として、空調付きの屋内で全車を保管し、品質管理を徹底している。新車・中古車、国産車・輸入車を幅広く取り扱い、在庫の回転率を上げ、常に新鮮なラインアップを取りそろえ、顧客に様々な提案ができる体制を整えている。また、リフトを完備し、車の下回り等をチェックして、顧客により詳しい車両状態を伝える等、従業員全員が顧客に寄り添っている。購入後も長期的な関係を築くことを目指し、顧客が納得・満足できる対応を重要視する文化が根付いている。



- ネット掲載による販売が主体。ネットへのアクセス状況を随時把握し、市場の注目度や需要を定期的に分析しながら車両の仕入を行っている。同業他社があまり取り扱っていない車両も仕入れており、多くのピーター（いわゆる「マニア」）を有している。代表者の長年にわたる経験や目利き力により、每期、順調に売上が増加している。
- 市場データと独自査定基準で適正評価を行う査定力を有している。更に中間業者を挟まないため高値買取が可能。
- 自動車の販売、車両委託販売、自動車買取、リースからメンテナンス、さらにコンサルティングまで同社でワンストップ対応が可能。顧客の車に関するライフサイクル全体を支えるビジネスモデルが構築されており、顧客満足度・リピート率の向上につながっている。

- メンテナンスサービス充実のため、最上級ガラス系ボディコーティング「GZOX ハイモース コート ヴェリス」の公式施工店として認定を受けている。このコーティングは、超硬質ガラス被膜により、驚異的な撥水性・耐久性・深い艶を実現し、汚れや洗車キズから長期間ボディを保護することができる。高級車を中心に取り扱う当社が、最高水準の商品完成度を実現するための一つのツールとなっている。



【今後の展開】

- 個々のサービスが独立するのではなく、顧客ニーズを把握・共有することで、単一のサービスでは顧客に提供できない新たな付加価値を提案していく。
- 人とのつながりを大切にし、顧客の車の悩みや相談、希望に親身になって対応していく。販売して終わりではなく、販売してからが取引の始まりと考え、アフターフォローを含め、長きにわたり取引ができる企業を目指していく。
- 同社の安定した業績は代表者の経験や目利き力によるところが大きい。将来の幹部候補生の育成・教育に力を入れており、仕入・販売・管理などの各部門において、代表者のノウハウを候補生と共有できる体制を築いていく。
- 売上増加を見込み、名古屋市内にストックヤードを確保し、空調付倉庫を建設するなど設備面を充実させている。今後は、海外向け売上戦略を強化していく。国内の貿易会社を通じて、東南アジアや南アフリカ、オーストラリアを中心に海外向け売上高を50%まで引き上げ、総売上高を増加させていく。

(3) 経営理念

同社は、顧客の立場に立ち、最高のカーライフを提案するために、以下の理念を掲げて、事業活動に取り組んでいる。

【代表者メッセージ】

創業以来、お客様が思い描く最高のカーライフを実現するため、様々なご提案を重ねてまいりました。

「何を買うか」、ではなく「誰から買うか」で、あなたのカーライフは大きく変わります。

“人”を大切にしている当社では、お客様一人ひとりのスタイルに合った最善のご提案を通して、納得のいく選択をしていただけるよう、スタッフ一同取り組んでおります。



(4) サステナビリティ

同社は SDG s 宣言を定め、これを指針として課題に取り組んでいる。

「SDG s 宣言」

お客様第一主義

自動車販売を通じて、お客様に安心と信頼をお届けし、お客様のニーズに全力でお応えします。そして、お客様にとって最高のカーライフを提供します。

人権

従業員が働きやすく、やりがいを感じられる職場環境を整備します。適正な労働慣行の実現により、生産性向上を追求します。

環境

電気自動車をはじめとするエコカーの普及促進に貢献します。また、廃棄物の適正処理や削減に努め、環境に配慮した事業活動を実践します。

地域貢献

地域活性化に繋がる取り組みと地域貢献活動の実践を通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献します。

それぞれの重点項目(マテリアリティ)において、具体的には以下のような取り組みを行っている。

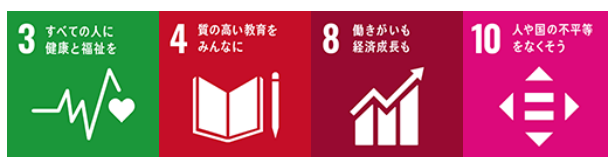
① お客様第一主義

- 有資格者によるメンテナンスサービスの充実
- 従業員のたゆまぬ技術研鑽
- 販売車種の充実（高級車からエコカーまで）



② 人権

- 就業規則の整備による長時間労働の抑制
- 有給休暇の取得義務化
- 各種ハラスメントの禁止
- 各種研修制度の充実



③ 環境

- LED 照明導入による省エネ推進
- システム化による紙媒体の削減
- 産業廃棄物の削減、適切な水使用
- 3R の積極推進



④ 地域貢献

- 地域イベントへの積極参加
- 地域の子供向け就業体験の実施
- 関連事業に対する寄附活動
- 地元人材の積極採用



<その他>

- 人材育成
 - メンター制度の導入

経験豊富な先輩社員（メンター）が若手社員や新人（メンティー）をサポートするメンター制度を導入している。メンティーの早期戦力化だけでなく、職場に慣れる過程で生じる不安を減らし、安心して働くことができる体制を作っている。また、後輩支援を通じてメンターの視野が広がることで、リーダーシップやコミュニケーション能力が向上することも目的としている。
 - 資格取得支援

同社の業務に必要な大型免許や中型免許、けん引免許について、全額会社負担とし資格取得を奨励している。
 - スキルアップ支援

中古自動車査定士の研修会や「G'ZOX ハイモース コート ヴェリス」の施工講習会等への参加について、全額会社負担としスキルアップ支援を行っている。

- 地域貢献

本社近隣の清掃・ごみ拾いを適宜実施している。
地元で開催される祭りに協賛金を拠出している。

- 働きやすい職場環境の整備

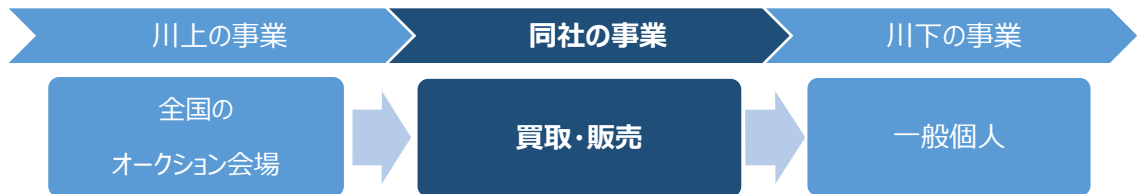
従業員の健康づくりを積極的に取り組み、従業員の健康増進を図るべく、「健康宣言チャレンジ事業所」の認定を受けた。



2. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

- 同社は、自動車の販売・買取・リースからメンテナンス、さらには経営や運用に関するコンサルティングまで、自動車業界全般をカバーする幅広いサービスを展開している。主に富裕層をターゲットとし、海外高級車を中心とした付加価値の高い車両を強みとしている。
- 販売先は国内が約 8 割、海外が約 2 割を占め、海外向けについては国内の貿易会社を通じて輸出を行うなど、安定した販路を確立している。中古車は主にネットオークションを活用して仕入れており、市場動向や車両価値を的確に見極める目利き力を生かした仕入体制を構築している。
- 販売手法としてはインターネット掲載を中心とし、アクセス数や閲覧状況から注目度や需要を定期的に分析し、その結果を仕入や価格設定に反映している点も特長である。こうしたデータ活用と丁寧な顧客対応により、リピーター顧客も多く、信頼関係を基盤とした事業運営を行っている。



(2) インパクトマッピング

- 大垣共立銀行は、先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。
- 同社の事業を、「自動車販売業（国際標準産業分類：4510）」、「自動車整備・修理業（同：4520）」、「自動車部品・付属品販売業（同：4530）」とする。
- 川上・川下の事業は、インパクトの特定を行わない。
- 以上の事業について、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト（以下 PI）」と「ネガティブインパクト（以下 NI）」を想定する。

(3) インパクトレーダーによるマッピング

バリューチェーン			同社の事業						
業種 (国際標準産業分類コード)			自動車販売業 (4510)		自動車整備・修理業 (4520)		自動車部品・付属品販売業 (4530)		
大分類	インパクトエリア	インパクト	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	
社会	人格と人の安全保障	紛争							
		現代の奴隷制度							
		児童労働							
		データのプライバシー							
		自然災害							
	健康と安全	健康と安全		●		●		●	
	資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手頃さ、品質	水							
		食糧							
		エネルギー							
		住居							
		健康と衛生							
		教育							
		移動手段	●●			●●			●●
		情報							
		コネクティビティ							
		文化と伝統							
	ファイナンス								
	生活	雇用	●		●		●		
		賃金	●	●	●	●	●	●	
		社会的保護		●		●		●	
平等と正義	ジェンダー平等								
	民族/人種の平等								
	年齢差別								
	その他の社会的弱者								
社会経済	強力な制度、平和、安定	法の支配							
		市民的自由							
	健全な経済	セクターの多様性							
		零細・中小企業の繁栄	●		●		●		
	インフラ	インフラ							
経済収束	経済収束								
自然環境	気候の安定性	気候の安定性		●				●	
	生物多様性と健全な生態系	水域							
		大気			●			●	
		土壌							
		生物種							
	生息地								
	サーキュラリティ	資源強度			●			●	
廃棄物				●		●	●		

「●●」は重要な影響があるカテゴリを示す

「●」は影響があるカテゴリを示す

同社の事業において発現したインパクトについて、カテゴリ毎の対応する SDGs ターゲットを整理する。

大分類	インパクトエリア	インパクト	インパクト		取組内容	対応するSDGs	
			PI	NI			
同社	健康と安全	健康と安全		○	従業員の健康を維持するため、定期的な健康診断を実施。健康経営優良法人の認証取得を検討している。 2012年以降、労働災害ゼロを継続している。	8.8	
	資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手頃さ、品質	移動手段		○	目利き力あるスタッフが全国から良質な中古車を厳選調達し、人気の海外高級車を中心に提供している。 同社独自の価値により遠方からも顧客を集め、選択肢と安心を提供することで中古車流通の質向上に貢献している。	11.2	
	生活	雇用		○	業務に必要な大型・けん引免許や、中古自動車査定士などの資格取得に際して、取得費用の全額を負担している。 毎年2名の採用を目指し、安定的な雇用創出に取り組んでいる。	8.5	
		賃金		○	従業員の賃上げに取り組み、処遇改善に取り組んでいく方針である。	8.6	
	平等と正義	ジェンダー平等		○	女性従業員の積極的採用、「あいち女性輝きカンパニー」の取得を目指し、女性が働きやすい職場環境の構築に取り組んでいる。	8.5 8.8	
	自然環境	気候の安定性	気候の安定性		○	事務所のLED照明化や代車のHV・EVへの切替えを進め、日常業務を通じた環型社会への貢献に取り組んでいる。	13.2
		サーキュラリティ	廃棄物		○	勤怠システム等のDX推進によりペーパーレス化を進めている。 廃車時に発生する部品のリサイクルを通じて廃棄物削減と環境配慮型経営を実践している。	12.5

※同社の「ジェンダー平等」のPIは、同社固有のインパクトとして追加する。

※インパクトリーダーで発現したインパクトのうち、上記表に不記載のインパクトは、同社の事業と関連性が低いため、評価対象外とした。

(4) 特定したインパクト

以上を踏まえて、同社のインパクトをESG（環境・社会・ガバナンス）毎に特定した。

環境（Environment）

環境負荷の低減に貢献

- 同社は、自動車事業を通じて環境負荷低減に取り組み、循環型社会の実現に貢献している。中古車販売や車両の委託販売、買取サービスを行うことで、まだ十分に利用可能な車両を市場に循環させ、車両廃棄の抑制や資源の有効活用を促進している。これにより、新車生産に伴う資源消費の削減にもつながっている。また、やむを得ず廃棄となる自動車については、部品のリサイクルを徹底し、廃棄物の削減と資源循環を意識した経営を実践している。
- 日常業務においては社員に対する省エネ意識の啓蒙を継続的に行い、事務所のLED照明への切替えや、代車のHV・EVへの更新を進めることで、エネルギー使用量およびCO₂排出量の削減を図っている。
- 加えて、勤怠システム導入などDXを推進し、社内手続きをデジタル化することでペーパーレス化を実現し、紙資源の使用削減にも取り組んでいる。
- このインパクトはUNEP FIのインパクトレーダーでは「気候の安定性」、「廃棄物」のカテゴリに該当し、自然環境面のNIを縮小すると考えられる。
- SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 12.5：2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
 - 13.2：気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。

社会（Social）

高品質・高級な自動車の供給による中古自動車市場の価値向上

- 同社は、高品質・高級な自動車を適切な状態で市場に供給することで、中古自動車市場全体の価値向上に取り組んでいる。新車・中古車の販売にとどまらず、車両メンテナンスや修理、カーリースといった多様なサービスを一体的に提供し、自動車に関する総合的なサポート体制を構築している。これにより、購入後も安心して長く車両を使用できる環境を整え、高級車両における安全な移動手段の維持を支えている。
- 特に高級車については、屋内での作業・展示・保管が可能な環境を確保することで、外部環境による劣化を防ぎ、車両本来の品質や美観を維持した状態で顧客に提供している。加えて、東海地区の自動車販売店で唯一、最上級ガラス系ボディコーティングである「G'ZOX ハイモース コート ヴェリス」を施工しており、高級車の価値を長期にわたり保持する取り組みを推進している。
- こうした高品質な車両管理や付加価値サービスの普及を通じて、中古車に対する信頼性や評価を高め、市場全体のイメージ向上に寄与している。
- このインパクトは「移動手段」のカテゴリに該当し、社会面のPIを拡大すると考えられる。

- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
11.2：2030 年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子供、障がい者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

安心で働きやすい職場環境の整備

- 同社は、従業員が安心して長く働ける職場環境の整備を重視し、働きやすさと人材育成の両立に取り組んでいる。その一環として、愛知県の「あいち女性輝きカンパニー」の認証取得を目指し、性別を問わず全従業員がワーク・ライフ・バランスを実現できる職場づくりを進めている。柔軟で働きやすい環境整備は、多様な人材が能力を発揮し続ける基盤となっている。
- また、自社ホームページや地域に向けた情報発信を通じて、若い世代に企業の魅力を積極的に伝え、採用活動にも力を入れている。毎年2名の採用を目標に掲げ、計画的かつ安定的な雇用創出を行うことで、地域経済への貢献と組織の持続的成長を両立している。
- 処遇面では、初任給や給与テーブルの見直しを検討し、賃金水準の改善にも取り組む姿勢を示している。あわせて、業務に必要な大型免許・けん引免許や中古自動車査定士などの資格取得については、取得費用を全額会社が負担し、従業員のスキルアップを積極的に支援している。こうした制度により、従業員一人ひとりの専門性向上とキャリア形成を後押ししている。
- このインパクトは「雇用」、「賃金」、「ジェンダー平等」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
8.5：2030 年までに、若者や障がい者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。
8.6：就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。
8.8：移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

企業統治 (Governance)

安全な職場環境の整備

- 同社は、従業員が安全かつ安心して働ける職場環境の整備に継続的に取り組んでいる。健康経営優良法人認定の取得を目指し、従業員の健康保持・増進を重視した健康経営を推進し、心身の不調を未然に防ぐ体制づくりを進めている。あわせて、社長の朝礼等の注意喚起により労働災害の発生防止に取り組んできた結果、2012 年以降労働災害発生件数ゼロを継続している。これらの取り組みを通じ、高い安全水準を維持し、安定的な事業運営と従業員の安心確保を両立している。
- このインパクトは「健康と安全」のカテゴリに該当し、社会面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 8.8 : 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認

① 国内におけるインパクトニーズ

- 国内における「SDGs インデックス&ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。
- 上記工程を経て特定した、同社のインパクトに対する SDGs は、「8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する」、「11. 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する」、「12. 持続可能な生産消費形態を確保する」、「13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」に対して、国内における SDGs ダッシュボードでは、「12、13」において大きな課題が残る、「8、11」において、課題が残るまたは重要な課題が残っており、国内のインパクトニーズと同社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。



② 愛知県におけるインパクトニーズ

- 愛知県における「SDGs 未来都市計画」を参照し、愛知県における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

SDGs の推進に資する取組 (2025~2027 年度の3か年の取組)

<経済面>							
革新的技術等の社会実装の推進 ○ 「自動運転」をはじめとした革新的技術の社会実装に向け、地域一丸となって取組を進めていく。 ○ 先端技術を活用したスマート農業技術の開発・普及や ICT を活用したスマート林業を進めていく。 ◆「自動運転」分野での社会実装件数：3件（累計）（2027年度）		スタートアップによるイノベーションの創出 ○ 2024年10月に供用開始された日本最大のスタートアップ支援拠点 STATION Ai を中心に、新産業・新ビジネスの継続的創出を図るための取組を進める。 ◆スタートアップと様々なプレーヤー間の共創による新規事業開発件数：50件（2025年度）		中小企業の持続的発展に向けた支援 ○ 「100年に一度の変革期」に直面している自動車関連の中小企業や、デジタル化の進展により大きく変化する産業構造の中にある中小企業が持続的に発展していくため、新事業展開やデジタル技術活用の支援を行う。 ◆自動車サプライヤーの新事業展開支援件数：30件（累計）（2025~2030年度）		イノベーションを生み出す人材の育成・確保 ○ デジタル人材の育成・確保と、企業への人材定着の促進を図るため、ロボットシステムの職技会の開催、中小企業に対するデジタル人材育成の支援を行う。 ◆「デジタル人材育成支援事業」における研修の受講者数：5,640人（累計）（2027年度）	
<社会面>							
若者の活躍促進 ○ 若者が社会で活躍できるよう、企業における若者の就労や職場定着の取組を支援する。 ◆25~44歳の完全失業者数：25,000人以下（2027年度）		女性の活躍促進 ○ 全庁横断的に設置したプロジェクトチームのもと、経営者の意識改革やワーク・ライフ・バランスの推進、保育サービスの充実、再就職支援など、働く場における女性の活躍を促進する。 ◆あいち女性輝きカンパニーの認証企業数：2,000社（2025年度）		高齢者の活躍促進 ○ 高齢者が能力や経験を活かし、働き続けられる雇用環境づくりや就業支援を強化するとともに、社会参加を促進し、地域の活動を担う人材の育成を行う。 ◆高齢者（65歳以上）の労働力率：27.8%以上（2027年）		障害のある人の活躍促進 ○ 障害のある人の採用や職場定着の支援や、障害者スポーツを推進する取組を進める。 ◆民間企業における障害者の実雇用率：法定雇用率：2.7%の維持（2027年度）	
				外国人の活躍促進 ○ 「特定技能」の創設に伴う外国人材の適正・円滑な受け入れの促進や、増加する留学生や外国人の雇用を促進するための取組を進める。 ◆県内で就職を目的として在留資格を変更した留学生数：1,800人（2030年）			
<環境面>							
「あいち地球温暖化防止戦略2030（改定版）」の推進 ○ 地球温暖化防止に関する取組を総合的かつ計画的に推進する。 ◆温室効果ガス総排出量の削減：46%減少（2013年度比）（2030年度）		EV・PHV・FCVの普及促進 ○ EV・PHV・FCVといったゼロエミッション車の普及を推進する。 ◆EV・PHV・FCVの保有割合：20%（2030年度）		循環型社会に向けた取組 ○ 多様な主体の連携のもと、サーキュラーエコノミー推進モデルの展開等による循環型社会の形成を目指す。 ◆循環ビジネス等の事業化検討件数（補助件数）：60件（2022~2031年度）			
自然との共生に向けた取組 ○ 多様な主体の連携によって生物の生息生育地を保全・再生・創出するなど、生物多様性保全に関する取組を推進する。 ◆保全活動団体と事業者のマッチング成立件数：28件（2021~2027年度）		行動する「人づくり」 ○ 環境学習や環境などに配慮した消費行動の普及啓発を通じて、持続的な社会を支える「行動する人づくり」を推進する。 ◆環境講座受講者数：11,165人（毎年度）（2030年度）		環境面を主軸とした経済・社会・環境の三側面をつなぐ取組 ○ 環境面からのアプローチを主眼とし、「経済と社会」、「環境と経済」、「環境と社会」の統合的向上に資する取組を促進する。 ◆低炭素水素認証制度による事業計画数：20件（累計）（2030年度）			

③ 大垣共立銀行が認識する社会課題との整合性

- 大垣共立銀行は、「サステナビリティ基本方針」において「地域経済の持続的成長」「地域のイノベーション支援」「多様な人材の活躍推進」「気候変動対応、環境保全」「地域資源の活用」「コーポレートガバナンスの高度化」の6つを重点課題（マテリアリティ）としている。
- 同社の特定したインパクトは以下の通り、大垣共立銀行の重点課題（マテリアリティ）と方向性が一致する。

同社の特定したインパクト	大垣共立銀行の重点課題（マテリアリティ）
環境負荷の低減に貢献	気候変動対応、環境保全
高品質・高級な自動車の供給による中古自動車市場の価値向上	地域経済の持続的成長
安心して働きやすい職場環境の整備 安全な職場環境の整備	多様な人材の活躍推進

以上のように、大垣共立銀行は本件の取組みが、SDGs の達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。

3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PI の拡大、NI の緩和・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する

環境負荷の低減に貢献

項目	内容
インパクトの種類	自然環境的側面において NI を縮小
カテゴリ	「廃棄物」「気候の安定性」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・日常より社員への省エネに関する意識の啓蒙や事務所等の LED 照明への切替えおよび代車の HV・EV への切替え実施により CO₂削減を推進 ・社内の勤怠システム導入等による DX・ペーパーレス化の推進 ・自動車の廃車における部品等のリサイクル割合を増やすことで、環境に配慮した経営を推進
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年 3 月期までに代車 10 台を EV・HV へ切り替える (2026 年 3 月末時点 : 30 台 (内 EV・HV5 台)) ・2030 年 3 月期まで、電気使用量を毎期、対前期比 2%削減 (2025 年 3 月期実績:約 60,000kwh) ・2030 年 3 月期まで、紙の使用量を毎期、対前期比 3%削減する (2025 年 3 月期実績:24,000 枚) ・2029 年 3 月期までに廃車に伴う自動車関連部品のリサイクル率を 50%にする (2025 年 3 月期実績 : 30%) <p>※以降、目標を再設定する</p>

高品質・高級な自動車の供給による中古自動車市場の価値向上

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大
カテゴリ	「移動手段」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内での整備作業や販売車の展示および保管ができる場所の確保により、高品質な高級車を提供する ・海外の富裕層向けの販売を増やすため、高級車の品質維持ときめ細やかな対応により有力な輸出業者への信頼を積み重ね、より強固な販売ルートを築く ・東海地区の自動車販売店で唯一実施している最上級ガラス系ボディーコーティング「G'ZOX ハイモース コート ヴェリス」の施工により、高品質な車両を普及させる
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2030年3月期までに、売上高 25 億円（うち海外向け：13 億円）を目指す（2025年3月期実績：10 億円（うち海外向け約 3 億円）） ・2027年3月期までに、車両コーティング「G'ZOX ハイモース コート ヴェリス」の取扱い件数を 10 件/月平均を目指す（2026年3月期実績：3 件/月平均） <p>※以降、目標を再設定する</p>

安心安全で働きやすい職場環境の整備

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大 社会的側面において NI を縮小
カテゴリ	「雇用」「ジェンダー平等」「健康と安全」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・初任給や給与テーブルの見直しに伴う賃金水準の改善検討や自社の HP 等での地域の若い世代への魅力発信を通じた、採用の強化 ・「あいち女性輝きカンパニー」の認証取得を通じた、全従業員がワーク・ライフ・バランスを実現できる職場環境を整備 ・資格取得などを支援し、従業員のスキルアップを図る ・健康経営優良法人認定の取得を通じた、従業員の健康に配慮した経営の推進 ・労働災害の発生防止に取り組み、安心して安全な職場環境を構築する
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年 3 月期まで、毎年 2 名以上を新規・中途採用し、従業員数を 15 名以上にする (2025 年 3 月期採用実績：2 名、従業員数：9 名) ・2027 年 3 月期までに「あいち女性輝きカンパニー」を取得し、女性従業員を 1 名以上増やす (2026 年 3 月末時点：2 名) ・2027 年 3 月期までに大型免許・牽引免許の保有者を 2 名以上増やす (2026 年 3 月末時点保有者：4 名) ・2027 年 3 月期までに中古自動車査定士の資格保有者を 4 名以上増やす (2026 年 3 月末時点保有者：1 名) ・2027 年 3 月期中に健康経営優良法人認定を取得し、維持する ・2030 年 3 月期まで、労働災害発生 0 件を継続する (2012 年以降労働災害発生件数 0 件) <p>※以降、目標を再設定する</p>

4. モニタリング

(1) 株式会社エルインターナショナルにおけるインパクトの管理体制

- 同社では、水島社長を中心に、本 PIF におけるインパクトの特定ならびに KPI の策定を行った。
- 今後については、本件にかかる責任者を水島社長とし、SDGs の推進、ならびに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

(2) 大垣共立銀行によるモニタリング

- 本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と大垣共立銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、大垣共立銀行とOKB総研が現時点で入手可能な公開情報、同社から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 大垣共立銀行、およびOKB総研が本評価に際して用いた情報は、大垣共立銀行およびOKB総研がその裁量により信頼できると判断したものであるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利はOKB総研に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳および翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。